



# 鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校  
鴻巣市大間1161番地  
令和3年10月1日

第 6 号

## 「秋は空 優雅に泳ぐ雲」 ～『夏休みの思い出』と『現代版枕草子』～

校 長 服部幸司

令和3年9月19日(日)朝、埼玉新聞12面の1面全てを飾ったのは、本校1年生16名の作文。けやき読者の声の欄で「中学生特集『夏休みの思い出』」と題されたものです。



家族みんなで秩父に行った思い出(1の4男子生徒)に始まり、中国に単身赴任中の父から届いた衝撃映像を見て、父への思いが募る話(1の2男子生徒)、自分の誕生した本庄市に行って、盲目の国学者である塙保己一に思いを馳せ、その意志の強さに感じ入った話(1の4男子生徒)、吹奏楽部の一員としての自覚をもてたクレアこうのす大ホールでの定期演奏会の話(1の1女子生徒)と、夏休みの思い出が、1年生らしく実に明るく瑞々しく語られていました。

16名の作文をよく読むと、「いつもと違う夏休み」を過ごしていたことが分かります。お盆期間以外はほぼ毎日活動していた部活動も週2日、家族で出かけるのも近場、思い切りはしゃげない、会話しながらの飲食ができない…等、変化に懸命に対応し、前向きに過ごすという意思、姿勢が伝わってきます。

この日の朝は、中学時代の同級生や退職された校長先生、教え子から「感謝の声」が届きました。「埼玉新聞、読みました。一面まるごと、素晴らしい…」「生徒たちの素直な気持ち」が表現された作文に元気付けられました…」暗いニュースが多い中で、明るい話題に接し、ほっとした気持ちになり、そのことを伝えられずにはいられなかったようです。

大人の心とらを捉えているのは1年生だけではありません。2年生の国語の授業では清少納言の『枕草子』を学習後、「各季節の一番よいもの」という視点で『現代版枕草子』を創りました。現在、生徒会活動室前に30作品が美しく飾られ、どの作品にもドキッとさせられています。ここでは女子生徒(2の5)の作品を紹介します。

現代版 枕草子  
二年五組

春は桜。  
木々が芽吹き、新しい世界。  
差し込む光が、桃色を笑わせる。  
飛び散る笑顔、またねと伝える。

夏は海。  
真つ青な空の下でささやくあなた。  
その瞳から輝く生き物、  
ほっと落ち着く。  
この雰囲気は、ここでしか味わえない 最高のものに。

秋は空。  
魚のように  
優雅に泳ぐ雲。  
夕日と一体化した  
雲も素敵だ。  
過ぎ去っていった紅葉  
にそそぐ そよ風も好きだ。



冬は山。  
パパラと降る小さな結晶が、  
積もりに積もって、山が雪山に  
なる瞬間に 日々の積み重ねが  
宝を生んだと感じる。  
そして、努力という花を咲かせる  
ために、準備という水をあげる。